平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	1001	事務事業名	議員行政調査研究事業	所管課	議事調査課

総合計画体系（後期）			
	部	0	行財政
	章	1	効果的・効率的な行政経営の推進
	節（施策）	1	市民のための行政サービスの充実

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

市民がのぞむ行政サービスが提供されています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

議会、委員会、会派及び議員が市政に関する調査研究や政策立案等を行うにあたり、その活動を援助する。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		10,631	9,740	11,684
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	10,631	9,740	11,684
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

議員が、調査研究及び提案活動などを活発に実施できるようにする。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
一般質問の数	一般質問者数	人	55	52	61	50	55	50	50	52	52
議会報告会	参加人数	人	―	―	94	200	91	160	180	200	220

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	国・県の動向や先進地事例の調査・研究を積極的に行ない議員の調査研究や提案活動を支援する。また、全員協議会等の開催に併せて議員研修会を行う。 円滑な議会運営のため、関係法規を検証し、申し合わせ・先例集等を適宜、精査する。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 各種委員会や会派などの行政視察が効果的な視察研修がなされるための資料収集などのサポートを行った。議会改革調査特別委員会に併せて研修会を実施した。政務調査費の収支報告書チェック、申し合わせ・先例集など随時見直しを行った。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	議会放映の閲覧者が増えているため。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	1	市議会として、他が行う事務事業との重複はない。
有効性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	3	平成２２年度から各コミュニティ単位で議会報告会を開催したが、初めての開催で住民への周知不足などにより参加者が目標より下回った。
市民参画協働の推進や、社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	1	コミュニティ単位に議会報告会を開催した。
効率性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	2	最低限の経常経費で執行している。
公平性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	1	公平に行っている。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	議会基本条例に沿った議員及び議会活動を支援するため、国・県等の動向や先進事例、法制等の調査、情報収集を行う。	各種委員会、本会議の事前・事後の事務処理、運営を行う。議会運営委員会・連絡会議・全員協議会の運営を行う。政務調査費に関する事務と議会との調整を行う。議会報告会の事務を行う。
予算	維持		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	維持	今後も適正かつ効果的に実施する必要がある。
予算	縮小	